

第12回高石市子ども・子育て会議概要

■日 時 : 令和6年11月12日(火) 午前9時30分～

■場 所 : 高石市役所本館2階 202

■出席者

[委 員]

畠中会長、中西副会長、清水委員、太田委員、土師委員、森本委員、中川委員、山崎委員、隈元委員、西村委員、村井委員、村上委員、久家委員

[事務局]

石坂教育部長、家村こども未来室長、神志那教育部次長兼教育総務課長、乾こども家庭課長、山崎学校教育課長、池側高齢・障がい福祉課長、米山子育て支援課長、船富社会教育課参事、上田こども家庭課長代理、宮城こども家庭課係長

■会議次第

1. 開 会

2. 委員、事務局の紹介

3. 会長の挨拶

4. 案 件

(1) 第3期高石市子ども・子育て支援事業計画の策定について

(2) ニーズ調査結果の概要について

(3) 高石市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等について

(4) その他

■配布資料

資料1 次第

資料2 高石市子ども・子育て会議条例

資料3 高石市子ども・子育て会議委員名簿

資料 4	高石市子ども・子育て会議傍聴要綱
資料 5	第 3 期高石市子ども・子育て支援事業計画の策定について
資料 6	ニーズ調査結果の概要について
資料 7	高石市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等について
資料別紙	高石市 子ども・子育て支援に関するニーズ等調査結果報告書

■会議概要

1. 出席委員

委員 15 名中 13 名の出席

傍聴希望者 無し

2. 案件

(1) 第 3 期高石市子ども・子育て支援事業計画の策定について・・・資料 5 に基づき、事務局説明（略）

畠中会長：策定の趣旨、そして計画の位置付けについては前回の会議でも説明があったかと思いますが、それにスケジュールについて特に何かご指摘等ございますか。よろしいでしょうか。

それでは、案件(2)ニーズ調査結果の概要について、事務局より説明をお願いします

(2) ニーズ調査結果の概要について・・・資料 6 に基づき、事務局説明（略）

畠中会長：ニーズ調査、就学児、未就学児含めて概略をご説明いただきました。事前に配布されていたので、お目通しいただいているかと思います。感想やご意見がございましたら、率直にいただければと思います。

委員：ニーズ調査結果の 76 ページの「遊び場の満足度」について、私は取石校区なんですが、羽衣校区の方の回答が「満足している」となっていたので、具体的にどの点に満足しているのかが気になりました。羽衣校区のほう、高石中学校の校区に家を建てるというママ友が多かったので、そういうのも関係しているのかなと思いました。

あとは、89 ページの「子育てを誰から支えてほしいか」について、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が多いという点にすごく共感できました。コロナ禍に入って学校の参観日などでも保護者の顔を見ることが少なくなったので、実際、ママ友が減ったというか。私の子どもは小学校 6 年生なんですけど、小 1 の時は普通で、小 2 ぐらいからコロナ禍に入ったんです。それで小 1 の時に学校に行っていた頻度と全く違うので、保護者との関わりがすごく減って疎遠になってしまったりして、保護者と話すことがあまりないので、そういうこともあってこういうアンケート結果になったのかなと思いました。

畠中会長：羽衣校区の満足度が高いという背景についてお答えいただけますか。

事務局：遊び場の満足度という調査に対して羽衣校区が多いというところですが、浜寺

公園が羽衣校区内にありますので、遊びに行きやすいというところがあるのかなと。途中で大きな道路もありますので、他の校区からなかなか行けないということもあるかとは思っています。

「子育てを誰から支えてほしいか」について、保護者同士のつながりがなくて困っているという話であったり、PTAや保護者会でのつながりもまた必要ではないかという話もうかがっています。コロナ禍を機に新たなご意見も出ているように感じています。

委員：浜寺公園のことを忘れていました。たしかにそうですね。私はよそから来ているので分からないんですが、羽衣校区の子どもたちは浜寺公園が遊び場だということを初めて知りました。すごくいいですね。

畠中会長：他にご意見ございませんか。

委員：私も同じく取石校区なのですが、遊び場の満足度は未就学児の方を対象にしたデータですよ。そうすると、小学校に行っていないお子さんなので、浜寺公園よりも子育て支援センターではないかと思います。毎日開放されている子育て支援センターが羽衣駅のところに新しく開設されたので、ここがかなり大きいのではないかと感じています。

というのも、私自身、年が離れた子どもがおりまして、上は高校3年生と2年生、一回り下に年長の子どもがいるんですが、上の18歳と17歳の子どもを育てている時は子育て支援センターがほとんどなくて、取石にはなかったんです。月日が経ち、子育て環境もこの12年でかなり変わって、市内の子育て支援センターを毎日点々と回っている未就学児を抱えた保護者の方が多いなという印象を受けています。でも、羽衣校区は毎日開いている子育て支援センターがあります。取石からは一番遠いですが、毎日開いているから行って、そこでお友だちができて、というのは聞いています。

保育園に入らずに子どもと一緒に長くいたいと思っていらっしゃる方は、子育て支援センターを利用してお友だちを増やしています。コロナ禍でつながりがなくなったところを、そういうところでつながりを増やされているんじゃないかなというので、子育て支援センターの充実というのは、核家族が多い中ですごく発展したんじゃないかなと思います。

畠中会長：データの背景が皆さんのご意見で可視化される感じがしてすごくありがたいです。他にいかがでしょうか。せっかくの機会ですので、意見は出していきたいと。

委員：羽衣の子育て支援センターのようなものは、取石とか、他にもつくる予定ですか。

事務局：今、子育て支援センターとして運営しているのは、綾園保育所子育て支援センター、東羽衣こども園子育て支援センター、先ほどお話がありました羽衣駅前の再開発エリア、羽衣子育て支援センター、それから高陽校区のシルバー人材センターの敷地内に1ヶ所となります。あとは、市役所別館に利用者支援事業の母子保健型を設置をしている状況です。取石地区には今は設置されていません。

委員：とろしプラザ(東コミュニティセンター)でもイベントが開催されていたりとか、

複数の認定こども園のイベントに参加している方は多いかなと思います。取石は遠いので、綾園保育所子育て支援センターに行ったり、東羽衣に行ったりとか。車でも行きにくかったり、自転車でも行きにくかったり。綾園は近いからまだ自転車でも行けますけど、取石の方は車で行きやすいところに行っているんじゃないかなと感じています。

畠中会長：他にご意見ございませんか。

委員：私の子どもは児童発達支援センターの松の実園に通っているんですが、障がい児を抱えた親にとって遊び場所はすごく困りました。指示が通りにくかったり、おもちゃの貸し借りが難しくて家にいることのほうが多くて、孤独になりやすい感じでした。地区も関係あると思いますが、病気や障がいを持った子どもが気軽に遊べる場所があったらいいなと。やっぱり躊躇してしまうので、障がい児でも入りやすい場所があるとありがたいなと思います。

委員：子育て支援センターのことですが、私の子どもは大きくなっているんですが、ファミリーサポートをしていて子どもを子育て支援センターに連れていったりすることもあるんです。いろんなお母さんと話す機会も多いんですが、車で行けないのが難点だということはおっしゃっていました。場所が遠い方は雨の日は自転車では行けませんので、今から駐車場を用意するのは難しいかもしれませんが、なるべく行きやすい環境づくりをお願いしたいと思います。

あとは先ほどもお話に出ていた羽衣校区ですが、校区内に浜寺公園があるということには私も感じています。うちは高石校区なんですけど、校区外には行ってはいけないという決まりがあるみたいで、子どもだけでは浜寺公園に行かないということになっています。せっかくだからボールを使ってたくさん遊ばせてあげたいなと日々思うんですが、公園に行ってもボールを使えなかったり、周りを気にして遊んでいる様子がうかがえるので、やっぱり羽衣校区はいいなと思っています。なるべく自由に、もっとのびのび遊ばせてあげたいなと日々感じています。

委員：私がこの調査票を見ていて感じたことは、子どもが病気の時の対処法としてお父さんが休んだという回答がすごく多くなっているなということです。前回調査と比べると、倍増しています。時代的な背景もあるとは思いますが、どちらかというと母親に労が集中する傾向が高かったのが、お父さんが積極的に子育てに参加するようになってきたんだと思う一方、子どもと一緒に過ごす時間を見ると、お父さんが子どもと過ごす時間は少ないなと。あまり増えていないんだなという部分があります。育休制度がかなり変化してきている状況の中にあっても、負担という言い方はよくないとは思いますが、最終的には母親に偏りがちな部分がまだまだ見られるんだなということを感じました。

畠中会長：働き方改革などが進んでいますが、まだまだ長時間労働などもあって働く現場は厳しい印象があります。少しずつ格差が縮まることが望ましいと思いますが、本調査ではその変化がまだ現れていないということでしょうか。

ご意見、感想はございませんか。

委員：他の委員がおっしゃったので思い出したのですが、今、ごちそう村になっているところが本屋さんだったんです。本屋さんがなくなったので、本を買いに行くところがなくなっちゃいました。うちの子は本が好きなので、一人で買いに行かせたいんですが、アリオの本屋さんは校区外なので行かせられないんです。

畠中会長：貴重な意見をありがとうございます。

委員：今、小さい子どもの話が多いんですが、私は12年振りに小学校に子どもを預けるので、初めて子どもを小学校に入れるぐらいの気分ですが、お父さんの育児の参入というのは肌で感じていて多くなっているなと思います。

うちも上の子どもたちは女の子で下が男の子なんですが、下の男の子は病院もパパが行ける時は一緒に行っています。いつ熱が出たとか、こういう症状だというメモをパパに持たせて、これを受付に見せたらいいからと言って連れていくようにしています。さすがに仕事を休んで、とまでは言えませんが、できる時はパパと一緒に過ごす時間を作るようにはしています。

取石はとろしプラザがあるので図書館もありますが、本が少ないと思うんです。本館から取り寄せることもできると思うので、活用されたらどうかと思います。

あおぞら児童会についてですが、学校によっては2クラスから3クラスに増えていたりしているということですが、名前はあるけれども来ていない人が多いということでした。私自身も小1の壁というんでしょうか、保育園から1年生に上がった時に、さあ、どうしようかと。学校によってもあおぞら児童会に入りたいと思う保護者と、入れたくないと思う保護者の差があるとも聞いています。この調査票を見た時にせっかくある制度だけど利用していない方も多くて、地域によってもいろいろなんだろうなと思っています。

畠中会長：いかがでしょうか。ないようであれば、次の案件に移りたいと思います。

(3) 高石市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等について、事務局より説明をお願いします。

(3) 高石市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等について・・・資料7に基づき、事務局説明（略）

畠中会長：支援事業計画の進捗状況を個別の事業ごとに説明いただきました。何か疑問点、ご意見がございましたらお出してください。

ほとんど数字の議論ですが、「コーホート変化率法」あるいは「推計した」となっています。数字の出し方は大丈夫なんですねというのでいいのかどうかというところが気になります。

委員：14ページの一時預かり事業の値ですが、令和7年度から一時預かりが1,334人、ファミリーサポートが93人と推計されていますが、令和6年度を見ると、実績値が一時預かりで2,067、ファミリーサポートが139となっていますがこれでいいのかという気がしていますが、いかがなものでしょうか。

事務局：こちらの項目に関しては、未就園児と利用者数を比べて令和7年度以降の数字を算出したものになっています。実績値も下がってきているところも一部ありますが、再度検討させていただきたいと考えています。

畠中会長：ここは私も違和感を覚えておりましたので一度ご確認いただきたいと思います。他にいかがでしょうか。人口減少が推定されていても、現状の実績は担保するという流れといくつかの傾向は読み取れると思います。

委員：令和6年度就学前児童数が2,498名です。幼稚園に通っている子の実績が令和6年度は454人で、保育所が1,440人、合計で1,894人ということで、全体の75.8%。逆に言うと25%ぐらいは未就園というか、家庭保育児が500人ぐらいはいるということですね。それぐらいが一時預かりやファミリーサポート事業を使うと。

こども誰でも通園制度を今後、どこの自治体でも実施していくのだと思います。こども家庭庁の担当者がこども誰でも通園制度のことを「誰通」と言っていた。

先ほどの説明でも、本市の定員が国の算定式で35人必要だとかおっしゃっていて、今後、保育園等と協議して受け皿を検討されるんだと思いますが、既存の一時預かりに誰通に園児数は減っているんですが、それなりにマンパワーは必要になってくると思うんですね。特に誰通の場合は慣れていない子を預かることになるので、それはそれで、例えば、担当する保育者もある程度キャリアがある人じゃないと大変かなという気もします。今、ファミリーサポート事業も担い手不足ということでしたが、そちらの体制を整えていくことは大きな課題だと思って聞いていました。

畠中会長：他にご意見ございませんか。特段のご意見がないようでしたら、案件（4）に移りたいと思います。

（4）その他・・・今後のスケジュールについて、事務局説明（略）

畠中会長：本日の会議は、これで終了ということでよろしいでしょうか。

委員の皆さまにおかれましては、会議進行にご協力いただき、まことにありがとうございました。活発な意見交換ができたと思います。ありがとうございました。